

File
B M
KOK

Lieutenant General Choi, Myung Shin
which indicated that the Turkish Bath was a Republic of V
welfare Center for the sole benefit of Korean troops. I
signed by Colonel Lee, Sun Yul, Chief of Korean Count
were also produced at the Vietnamese customs buildi
of Korea Counterintelligence officers in an attempt to
of the goods seized. In an effort to identify
involvement in the club, V
Principles of the Korean Customs

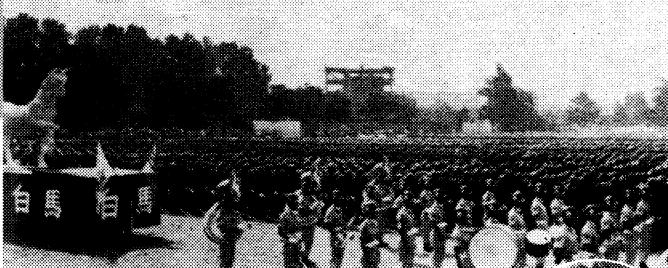
Mr. Choi, Myung Shin
several other establishments and slot machines apparently under the
exchange merchandise and slot machines. The other establishments
explosives of Korean military personnel. The other establishments
thus far identified are as follows:
a. Turkish Bath, 347 Tran Hung Dao, Saigon.
b. Chong Nam Hotel Restaurant, 78 Nguyen Khanh, Saigon.
c. Korean Restaurant, 379 Truong Minh Ky, Saigon.
d. Van Goc Club, 78 Vo Tanh, Phu Nhieu, Saigon.
e. Saigon Club, 92 Phan Dinh Phung, Da Kao.
f. Restaurant Bar, 22 Phan Dinh Phung.
g. The Korea House, 472

人慰安婦 歴史的スクープ

「急所」がいた!



朴槿恵は父・朴正熙の呪縛から逃れられるか



1966年8月、南ベトナムに派遣
される韓国陸軍の壮行式（ソウル）

三月二十一日、ソウル。三年ぶりの日中韓外相会談が行われたが、日韓間で慰安婦問題の議論は平行線を辿った。だがもし韓国軍が同

最初に、TBSでワシントン支局長を務めている私が、なぜベトナム戦争当時の韓国軍について取材始めたのかを記しておきたい。きっかけは、アメリカに赴任する直前の二〇一三年初夏、ある外交関係者から聞いた言葉だった。日韓関係に長らく関わり、野党時代の朴槿恵氏と食事をした

上、彼女が自分からこの問題を解決するという選択肢はなくなつた。もはや慰安婦問題は韓国の内政問題となつてしまつた。そして、慰安婦問題が朴大統領自らの反日姿勢を証明するツールとなつた以上、彼女が自分からこの問題を解決するという選択肢

TBSワシントン支局長 山口敬之

1966年生まれ。慶應大学卒。90年TBS入社。報道カメラマン、ロンドン支局、社会部（警視庁担当、運輸省担当など）、政治部（外務省担当、官邸キャップなど）を経て13年8月渡米、現ワシントン支局長。
連絡先：/noriyuki.yamaguchi@facebook.com



こともある人物だ。
「朴大統領は就任早々、慰安婦問題で出口のない迷路に入り込んでしまった」

その年の二月に第十八代大統領に就任した朴槿恵氏は、早くも慰安婦問題で日本に強硬な姿勢で臨む方針を明確にしていた。

韓国では〇四年に、植民地時代に日本に協力した者を糾弾する「親日・反民族行為真相究明特別法」が成立している。植民地時代、日本軍の将校だった朴正熙元大統領を父に持つ朴大統領は、この法律によって大いに苦しめられてきた。

「父の親日イメージを断ち切るかのように、日本批判を続ける事が彼女のレゾンデー・トルとなってしまった。そして、慰安婦問題が朴大統領自らの反日姿勢を証明するツールとなつた以上、彼女が自分からこの問題を解決するという選択肢はなくなつた。もはや慰安

婦問題は韓国の内政問題となつてしまつたのだ」

韓国軍に ベトナム 米機密公文書が暴く朴槿恵の

「もしかしたら、あなたがこれから赴任するアメリカに解決のヒントがあるかもしない」
日韓両国から遠く離れたアメリカに、何があるというのか。

「実は、ベトナム戦争当時、韓国軍が南ベトナム各地で慰安所を経営していたという未確認の情報がある。これをアメリカ政府の資料等によって裏付ける事ができれば、慰安婦問題において韓国に『加害者』の側面が加わる事になる。それをきっかけに、朴大統領と韓国国民が頭を冷やし、真摯に慰安婦問題に向き合うようになれば、事態は変わるものかもしれない」

日韓関係の現状を憂うこの人物に背中を押され、ワシントン赴任早々の一三年九月から、私の全米各地に眠る公文書を探す取材が始まった。

*
アメリカには、国立公文

書記録管理局、通称「NARA」と呼ばれる組織がある。政府の公文書や歴史的価値が高いと判断された各種資料を保管する米政府の公式機関で、全米三十三カ所に公文書管理施設を持ち、四十億枚の紙、三十万本の映像、五百万枚の地図や統計資料などを保管・公開する世界最大の公文書管理組織だ。

ベトナム戦争についても、南北の内戦突入（一九六〇年）から米軍全面撤退（七三年）に至る、膨大な公文書や映像資料が保管されている。

六〇年代に本格化したベトナム戦争は、ソ連や中国など共産主義陣営が支援する北ベトナム側と、アメリカや台湾など自由主義陣営が支援する南ベトナム側が戦った事から「冷戦米ソの代理戦争」と呼ばれた。

五〇年代前半の朝鮮戦争で国土が荒れ果て、世界の最貧国レベルにまで落ち込んでいた韓国。六三年に第

五代大統領となつた朴正熙は、ベトナム戦争を復興に向けた千載一遇のチャンスと位置づけた。粘り強い交渉の結果、アメリカ政府から派兵規模に応じた補助金支給と、対米移民枠の設定を勝ち取り、六五年から本格的に韓国軍を投入。南側では米軍に次ぐ勢力となる延べ三十万人の韓国兵がベトナムに渡つた。

ベトナム戦争時の韓国軍に関する公文書は全米各地に点在している。私は、ワシントン支局長としての日々の業務の合間に縫つて、ワシントン市内や郊外メリーランド州の公文書館、さらに各地の米軍基地付属の図書館や資料館を訪ねたり、リサーチャーを派遣したりして、関連の文書を大量にコピーし、支局に持ち帰っては読み込む作業を続けた。

ジョン・F・ケネディ大統領（六一～六三年）やリンドン・B・ジョンソン大統領（六三～六九年）、ロバ

ート・マク

されていた。

ナマラ国防長官（六一六八年）など当時のキーマンの書簡から、あらゆる階

米軍司令部は韓国軍司令部に対して繰り返し書簡を送り、違反者の訴追と再発防止を求めたが事態は悪化の一途をたどった。

七〇年には、アメリカ連邦議会下院の外交委員会

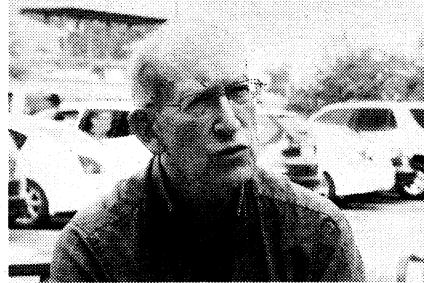
で、韓国軍による残虐行為を追及する特別調査チーム

が作られる事態にまで発展した。

そこで、私はリサーチの目先を変えてみた。韓国兵の悪行が問題になっていた

32

1960年代後半にサイゴンに派遣されていたハンス・イケス氏



各国の外交官や軍関係者のメモまで、ありとあらゆる階

邦議会下院の外交委員会で、韓国軍による残虐行為を追及する特別調査チームが作られる事態にまで発展した。

ただ、これら外交文書の多くは虐殺や経済犯罪などに関するもので、韓国軍の慰安所に関するものはなかなか出てこなかつた。

そこで、主題である通貨不正事件の検査のために、米軍とベトナム通関当局が共同で家宅捜索を行つて、その結果を、次のように記していた。

「この施設は、韓国軍による、韓国兵専用の慰安所 (Welfare Center) である」
(The Turkish Bath was a benefit of Korean Troops.)

横流しきれていると指摘さ

れていた。その一連の犯罪の悪行が問題になっていたなら、犯罪や裁判の記録の中に何らかの手がかりがあるのではないかと考えて、

四年の春から、ベトナム駐留米軍の軍政部と軍警察の犯罪記録に手を伸ばし、年代順にコピーして片つ端から読み始めた。そこには、外交文書よりもさらに生々しい強姦、暴行、窃盜、傷害、軍需物資の不正取得など、夥しい数の韓国兵の犯罪が様々な形で記録されていた。

そして、主題である通貨不正事件の検査のために、米軍とベトナム通関当局が共同で家宅捜索を行つて、その結果を、次のように記していた。

韓国軍の最高司令官・蔡新に対して、経済犯罪に関わった疑いのある大佐や中佐など、韓国兵六名の実名を通報した。友軍の司令官に部下の犯罪行為を指摘する書簡だけに、その文章は捜査と証拠に基づいていて隙がない。

まず、押収資料の中か

本格派兵直後の六五年から始まっていた。戦地での市民の虐殺、強姦から、サイゴンなどの都市部での偽造、物資の横流し、麻薬密売に至るまで、ありとあらゆる犯罪記録が大量に残

最初に集中的に読み込んだのは、ホワイトハウスや國務省等の外交文書だ。そこれから判明したのは、当時のアメリカ政府がベトナムにおける韓国兵の行状に、相当手を焼いていたという事だった。

韓国兵の蛮行の記録は、本格派兵直後の六五年から始まっていた。戦地での市民の虐殺、強姦から、サイゴンなどの都市部での偽造、物資の横流し、麻薬密売に至るまで、ありとあらゆる犯罪記録が大量に残

として、私はリサーチの目先を変えてみた。韓国兵の悪行が問題になっていたなら、犯罪や裁判の記録の中に何らかの手がかりがあるのではないかと考えて、

横流しきれていると指摘さ

れていた。その一連の犯罪の悪行が問題になっていたなら、犯罪や裁判の記録の中に何らかの手がかりがあるのではないかと考えて、

四年の春から、ベトナム駐留米軍の軍政部と軍警察の犯罪記録に手を伸ばし、年代順にコピーして片つ端から読み始めた。そこには、外交文書よりもさらに生々しい強姦、暴行、窃盜、傷害、軍需物資の不正取得など、夥しい数の韓国兵の犯罪が様々な形で記録されていた。

そして、主題である通貨不正事件の検査のために、米軍とベトナム通関当局が共同で家宅捜索を行つて、その結果を、次のように記していた。

韓国軍の最高司令官・蔡新に対して、経済犯罪に関わった疑いのある大佐や中佐など、韓国兵六名の実名を通報した。友軍の司令官に部下の犯罪行為を指摘する書簡だけに、その文章は捜査と証拠に基づいていて隙がない。

今回、米国の公文書によつて初めてその存在が明らかになった、サイゴンの「韓国軍慰安所」とは、一体どのような運営されてきたのだろうか。

すぐにでもベトナムに飛んで現地取材をしたかった

たところ、私はリサーチの目先を変えてみた。韓国兵の悪行が問題になっていたなら、犯罪や裁判の記録の中に何らかの手がかりがあるのではないかと考えて、

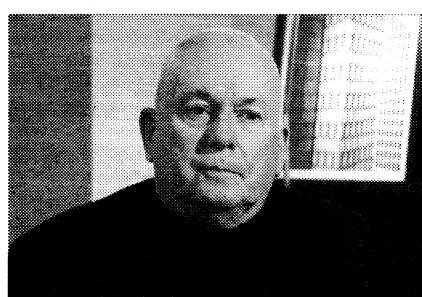
四年の春から、ベトナム駐留米軍の軍政部と軍警察の犯罪記録に手を伸ばし、年代順にコピーして片つ端から読み始めた。そこには、外交文書よりもさらに生々しい強姦、暴行、窃盜、傷害、軍需物資の不正取得など、夥しい数の韓国兵の犯罪が様々な形で記録されていた。

そして、主題である通貨不正事件の検査のために、米軍とベトナム通関当局が共同で家宅捜索を行つて、その結果を、次のように記していた。

韓国軍の最高司令官・蔡新に対して、経済犯罪に関わった疑いのある大佐や中佐など、韓国兵六名の実名を通報した。友軍の司令官に部下の犯罪行為を指摘する書簡だけに、その文章は捜査と証拠に基づいていて隙がない。

今回、米国の公文書によつて初めてその存在が明らかになった、サイゴンの「韓国軍慰安所」とは、一体どのような運営されてきたのだろうか。

すぐにでもベトナムに飛んで現地取材をしたかった



元米海兵隊歩兵部隊長のアン ドリュー・フィンライソン氏

が、ワシントン支局長という立場上長期間アメリカを離れる事は難しい。そこで私は当時のサイゴンの風俗事情に詳しい人間がアメリカにいないか、そしてできれば問題の施設そのものを知る人物がいないか改めてリサーチを開始した。

まず、当時の米軍関係者とベトナム系アメリカ人に照準を絞って、アメリカにおけるベトナム関連のネットワークを探した。関連のフォーラムに出席したり、米政府の退役軍人省のデータベースを調べたりして、連絡先の判明した関係者に虱つぶしに手紙やEメールを送った。また、サイゴンに住んだ経験のある人の証言を得る為、ワシントン郊外バージニア州のベトナム人集住地区の新聞に情報提供を求める広告を出した。すると、ほどなくして広

告を見たアメリカ人からFメールが来た。

ハンス・イケス氏（70）は、六〇年代後半にアメリカの通信インフラ会社からサイゴンに派遣され、その後数年間にわたってベトナムとアメリカを往復したという。イケス氏は、今はバージニア州東部で年金生活を送っている。若くして訪れたサイゴンは印象が強烈だった。そういう事で、当時の街の様子を饒舌に語ってくれた。しかし、トルコ風呂について質問が及ぶと、周りを煙るようすに声を潜めた。

「トルコ風呂」は、当時サイゴンにいた人の間では、「射精パーラー」（Steam and Cream Parlor）と呼ばれていました。若いベトナム人男女性から性的サービスを受けたことが出来たからです」

別のサイゴン駐在経験のある米軍O.B.は、匿名を条件に次のように証言した。

「トルコ風呂で働いているのはほとんどが二十歳未満の農村部出身の少女だった。十六歳だと語る人もいたし、もつと若く見える女の子もいた。素朴で華奢な少

女達に夢中になる兵士も多
く、彼らは周りからYellow
Fever（黄熱病）と揶揄やられ
ていた」
「こうした証言を通じて、
当時サイゴンのトルコ風呂
が、かつての日本と同じく
売春施設の別称であつた事
は明らかになつてきたが、
問題の韓国軍の慰安所その
ものを知つてゐる人物には
なかなか辿り着けなかつた。
そして、作業を続けて半
年程経つた頃、ベトナム戦
争を戦つた経験のある米軍
朝晩の冷え込みが厳しくなつ
なってきた昨年初冬、アメリカ
東海岸バージニア州の
小さなホテルに現れたフイ
ンライソン氏は、黒いターネ
トルにジャケットを着た、
温厚な容貌の紳士だつた。
だが、衣服越しにも明らか
な分厚い胸板と鋭い眼眸
が、元海兵隊幹部という冒
書きを裏付けていた。
「韓國軍の慰安所は、確かに
サイゴンにありました。
よく知つています」
その体躯とはうらはらに

「休息と回復期間」の兵士

OBからEメールが送られてきた。
アンドリュー・フィンニイソン氏(71)。米海兵隊の歩兵部隊長として六七年から二年八ヶ月に渡ってベトナム戦争を戦い、サイゴンをはじめ南ベトナム各地を転戦。退役後は紛争地域の軍事顧問団として活躍し、ベトナム戦争に関する著作も発表している研究者だ。早速インタビューを中心とした「期間」の兵十に、フィンニイソン氏の語り口は、研究者だけあってあくまで知的で静かだった。南ベトナム各地の農村部隊の偵察部隊の責任者として、韓国軍との連絡調整に従事した経験があり、韓国軍の実情に詳しかった。「米軍司令官が指摘している韓国の慰安所とは、韓国軍の兵士に奉仕するための施設です。それ以外大きな性的施設です。韓国兵士にセックスを提供するための施設です。それ以外の何ものでもありません」

フィンライソン氏によれば、問題の施設は、トルコ風呂としてはかなり大規模なものだったという。その後の取材で、施設が入っていた建物が今なお現地に存在する事が確認され、問題の施設が隣接する二つのビルを合わせて一つの施設として一体的に運営されていた事や、通りの向かい側にも別棟があるなど相当な規模で運営されていた事がわかった。しかし、フィンライソン氏によれば、サイゴン市内の別の場所には、これよりもさらに大きい慰安所があったという。これらの施設は、内部が多くのブロックに分かれている、一区画に二十人前後のベトナム人女性が働かされていたという。



南ベトナム政府の元官僚、ゲ エン・ゴック・ビック博士

性を売春婦として困る恐れもあり、こうした行為はペトナム社会と韓国兵の間で政治的トラブルに発展する危険性がありました」

「また軍にとつては性
重大な懸念でした。對

たベトナム人の慰安婦とは、どんな女性たちだったのか。
フィンライソン氏は、そのほとんどがベトナム各地の農村出身の少女だつたと証言した。

女性もいた。彼女たちは、職を失つて慰安婦となつた。騙されて連れてこられた女性も当然いたでしょう」
先の書簡には、この施設は韓国兵専用の慰安所として設立され、米軍などは韓国兵専用の慰安所として設立され、米軍などは

安所」とでもいへば、これまで知られていなかつた韓國軍の施設が存在したという点については、もはや疑いがなかつた。

が、問題の書簡を読んで、どうと見る見る顔つきが妙しくなった。

「犯罪や酷い行為が行われたのならば、それは日本人だろうが韓国人だろうがべつに構わないが、アリス

重慶に赴いた際、そこで慰安婦の健康を管理できます。当時南ベトナムでは性病が深刻な問題になっていて、特に梅毒が蔓延していました」

彼女達が施設に来た理由は様々です。貧困のために家族に売られてきた少女もいたし、自らの意思で来た

國軍の慰安所が友軍の兵士を受け入れるようになった。経緯については、フィンライソン氏はこう説明した。

郊外に住むグエン・ゴック博士に話を聞く事ができた。

ク博士は、ベトナム人について「二千年前の出来事でも昨日のことのように話す民族」であるという。

(Rest & Recuperation)」として戦地を離れ、サイゴンで休養する事を許された。この「静養中」の韓国兵がサイゴンや近郊の農村でトラブルを起したり、性病に

韓国の國家としての意思
「休息期間」でサイゴンに滞在する韓国兵の数は時
期や季節によつてばらつき
公文書の内容や関係者からの聞き取りと、ぴったりと
一致していた。

ナム戦争五十周年の記念フォーラムで出会った。中部の港湾都市ダナンで生まれ、サイゴンで育ったビック博士は、ベトナム戦争が本格

して酷い事をしたのであれば、ベトナム人はうやむやにしては、決していいとは思わない。」

權つたりしないよう、韓國軍が韓國兵のための慰安所を、サイゴン市内に設置したとい

そもそもは韓国兵専用として設立された施設ですが、韓国兵の数が少ない時期に、友軍の兵士も受け入れるようになつていつたのです」私が投げかけるあらゆる

時間半に渡るインタビューを終え、私は一年三ヶ月に及んだこの取材を通じて抱えていたいくつかの疑問が氷解していくのを感じた。

リカに渡り、コロンビア大学や京都大学などに留学した後、複数のアメリカの大手で教鞭をとったアジア文学の研究者だ。

と向き合い、調査し、交渉をして、白黒はつきりつけなければならない。真実が分からぬ限り、いつまでも問題は解決しないし、國家間の関係を害することになる」

うのだ。
では韓国
兵士の相手
をさせられ

質問に対し、フィンライソン氏の答えは簡潔かつ明快だった。そしてその解説は、それまでに読み込んだ

運営実態など、今後解明されなければならない事は多い。しかしベトナム戦争当時のサイゴンに「都市型慰

いては詳しく知っていたが、慰安所の事は知らなかつたという。ビック博士は小柄で白髪の温厚な紳士だ

たのが、慰安所設置に踏み切った、韓国の國家としての意思だ。

韓国の国家としての意思

違法行為でなく、韓国政府

が政策としてやっていたの

なら、看過されるべきでは

ない。国家が関与したので

あれば、決して正当化する

事はできないのです」

「軍の規律維持」と「性病

防止」のために、韓国政府

と韓国軍が組織的に慰安所

を設置、運営したのであれ

ば、そこには明白な國家の

意思が存在することにな

る。そしてその構図は、韓

国政府が繰り返し厳しく批

判する日本軍の慰安所と全

く同じだ。

だがそれもそのはず、当

時の大統領・朴正熙は、日

本の陸軍士官学校を卒業

し、太平洋戦争では日本軍

兵士として満州各地を転戦

した経歴を持つ。それだけ

に、日本軍の慰安所の仕組

みと機能を熟知していた。

また、問題の書簡を受け取

った蔡命新司令官は、六一

年に朴正熙がクーデターを

起こした直後に幹部に抜擢

した腹心中の腹心だ。

蔡命新は、九四年に執筆

した自叙伝『死線幾たび』

の中で、朝鮮戦争當時韓國

軍が慰安所を運営していた

事実を認めている。

朝鮮戦争休戦後、わずか

十年余でベトナム戦争に参

戦した韓国軍が、ベトナム

でも慰安所を運営するのは

ごく自然な成り行きだった

だろう。朴正熙と蔡命新と

いう政軍両トップの存在が

あつたからこそ、ベトナム

戦争でも韓国軍が慰安所運

営に踏み切ったともいえる。

一方、朴正熙の娘である

朴槿恵大統領は、私の渡米

後も、日本軍の慰安所につ

し続けた。昨秋の国連総会

では、世界に向けてこう演

説した。

「戦時の女性に対する性暴

力は、時代、地域を問わ

ず、明らかに人権と人道主

義に反する行為だ」

ベトナムに韓国軍の慰安

所が存在したことがアメリカの公文書によつて明らか

になった今、朴槿恵大統領

は自ら発した言葉に自ら応

える義務を負つた。

彼女が慰安婦問題を、反

日を煽る内政や外交の一

環ではなく、真に人権問題

として捉えているのであれ

ば、サイゴンで韓国兵の相

手をさせられたベトナムの

少女に思いを致すだろう。

日本軍慰安所は、どこが同

じでどこが異なつていたの

か。意に反して慰安婦にな

る事を強いた女性はい

なかつたのか。どんな環境

で働かされたのかなど、率

先して調査するだろう。韓

国の元慰安婦に対して行つ

る事による。

こうした公正な姿勢によつ

てのみ、日韓両国の慰安婦

問題が整理され、両国が真

たのと同じように。

そして、韓国軍慰安所と

ると私は信じる。

しかし、もし韓国政府が

この問題を黙殺したり、調

査もせず否定したりするな

ら、彼らこそ都合の悪い事

事に背を向け、歴史を直視

しない国家である事を、国

際社会に対して自ら証明す

る事になる。

ベトナム現地取材 「女に飢えた韓国兵がトラックでやつてきた」

米公文書館で発見された

「書簡」によつて今回初め

て明らかになつた韓国軍慰

安所。その実態とは果たし

てどのようなものだったの

か。書簡に書かれていた

「トルコ風呂」など関連施

設の住所を訪ね、さらなる

裏付けをするべく、本誌取材班はベトナムに飛んだ。

いた「トルコ風呂」だ。

問題の建物はホーチミン

市内に現存しており、そこ

で行われていた行為は、近

隣住民の記憶にはつきりと

残つていた。

この建物の近くに長年住

み続け、ベトナム戦争中は

南ベトナム軍憲兵として当

時のサイゴン市内の治安維

持に当たつていたピンさん

(67)は、自宅からほど近

くにあったトルコ風呂をよ

り知っていたのです」

同氏によると、北部の前

の和解に向かう礎が生まれ

ると私は信じる。

しかし、もし韓国政府が

この問題を黙殺したり、調

査もせず否定したりするな

ら、彼らこそ都合の悪い事

事に背を向け、歴史を直視

しない国家である事を、国

際社会に対して自ら証明す

る事になる。

